

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 37 回 レベル 1 P R A 分科会 議事録

1. 日時 第 37 回 : 21013 年 1 月 29 日 10 : 00 ~ 18 : 00
2. 場所 原安進 第 1, 2 会議室
3. 出席者

(出席委員) 高田主査、小倉副主査、村田幹事、岩谷委員、大塚委員、岡野委員、梶本委員、桐本委員、黒岩委員、小谷委員、小森委員、高橋委員、久持委員、廣川委員、前原委員、牟田委員、関 (山中委員代理) (17 名出席)

(常時参加者) 鈴木、根岸、友澤、佐竹 (4 名)

(傍聴者) 仁科、佐藤、喜多 (発表者) (3 名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-37-1 第 36 回レベル 1PRA 分科会議事録 (案)

P4SC-37-2 レベル 1PRA 分科会のコメント対応

P4SC-37-3 リスク専門部会のコメント対応

P4SC-37-4 実施基準改定案への反映項目とその対応

P4SC-37-5 実施基準改定案

P4SC-37-6 レベル 1PSA 標準と ASME/ANS 標準との比較について (P4SC-31-4 改訂版)

参考資料

参考—1 第 36 回レベル 1PRA 分科会議事メモ (案)

参考—2 当面のスケジュール案

参考—3 レベル 1 P R A 分科会 委員リスト

参考—4 P R A 品質確保分科会関連資料一式

参考—5 実施基準改定案 6. 2. 1 節の改定案について

参考—6 実施基準改定案 6. 4 節の改定案について

参考—7 人間信頼性解析フロー図

5. 議事内容

冒頭、主査より、出席者が定足数以上であることの確認があった。

(1) 第 31 回の議事録確認

資料 P4SC-37-1 により前回議事録を確認した。特にコメントはなかった。

(2) リスク専門部会のコメント対応について

資料 P4SC-37-2 については、実施基準改定案の議論で合わせて確認することとし、資料

P4SC-37-3に基づき、リスク専門部会のコメント対応を確認した。また、コメント対応に関連する6章関連の改定状況を先に議論することとし、参考-5、参考-6、及びP4SC-37-5に基づき、改定案、解説追加案を確認した。

(3) 実施基準改定案修正案について

前回に引き続き、実施基準案の7章から14章について、P4SC-37-2、P4SC-37-4を用いて、主にコメント対応による改定部分の説明、議論が行われた。これにより、実施基準改定案の紹介と議論がひととおり終了した。更なるコメント対応、修正は、次回、次々回の分科会で対応、議論することとなった。

(4) PRA品質確保分科会の活動について

本実施基準と密接に関係するPRA品質確保標準案の策定状況について、当該分科会の幹事である喜多発表者より紹介があった。特に、レベル1 PRAでしばしば用いられる工学的判断と専門家判断の区別について、PRA品質確保分科会でも議論されるよう依頼した。

(5) 実施基準改定案の読み合わせについて

実施基準案の最終確認のため、1章から順次読み合わせを行うこととし、1章から3章について、改定案を担当する大塚委員が本文、付属書、解説をひととおり読み上げ、各委員が気づき事項をコメントする形式で進められた。時間の関係で、4章以降は次回となった。

(6) 今後のスケジュールについて

次回第38回の分科会は2月14日、次々回第39回は2月26日で設定済みであり、いずれも今回と同様、午前/午後を通して開催し、読み合わせと修正確認を行うことが確認された。今回のコメントを受けた実施基準案の修正案のうち、7,8章関連は次回38回で、9章以降の修正、及び次回分科会でのコメント対応は次々回39回で確認することとなった。また、第40回分科会は、部会投票を受ける位置づけで4月24日の午後に、標準委員会投票に向けての最終確認の位置づけで第41回分科会を5/22午後とすることとなった。ただし、PRA品質確保分科会の最終報告のために4月に部会開催を調整する予定とのことで、その場合には本分科会の最終報告も同じく4月とする可能性があり、第40回以降の分科会開催予定はその動向によって変更の可能性もあるとの補足があった。

以上